

平成25年12月3日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 平成25年12月3日(火)
午後3時00分
- 2 閉会の日時 平成25年12月3日(火)
午後4時15分
- 3 招集の場所 総合福祉会館34・35号室
- 4 出席委員の氏名 倉橋 徳彦
大槻 豊子
塩見 佳扶子
荒木 徳尚
- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの
教 育 部 長 大 柿 日 出 樹
教 育 委 員 会 事 務 局 理 事 坂 本 幸 彦
次 長 兼 教 育 総 務 課 長 池 田 聡
教 育 総 務 課 参 事 真 下 誠
- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者
次 長 兼 教 育 総 務 課 長 池 田 聡
- 7 議事及び議題
別添のとおり
- 8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり
- 9 決議事項

議第21号 原案どおり可決、承認

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

平成 年 月 日

福知山市教育委員会 委員長

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

教育委員会会議調製者 教育部長

教育委員会会議録

1. 開会

倉橋委員長が開会を宣告。

2. 議事

議第21号（平成26年度福知山市立幼稚園の入園募集結果について）

池田次長兼教育総務課長 ～資料に基づき説明～

資料の4ページからお願いします。

最初に平成26年度市立幼稚園の応募状況ですが、11月1日から29日まで申込の受付を行いましたところ、平成25年度と比較しますと、資料の5つの点の特徴が上げられます。

まず、全幼稚園の応募者は173人から165人へと8人減になりました。

このうち全幼稚園の5歳児の応募者は、118人から89人と29人減となりました。

また、4歳児の応募者は、55人から76人へと21人増となり、福知山幼稚園と成仁幼稚園で各1人、応募超過となりました。

こういったなかで、全幼稚園の学級数は、10学級から7学級へと減る見込みであります。

大正幼稚園については、休園の基準としておりました10人を下回り応募が6人となりました。

続いて5ページをお願いします。大正幼稚園の休園についてですが、平成26年度の募集案内に「入園希望者が10人を下回った場合は、休園します」との注釈をいれておりました。その結果、大正幼稚園の申込者は6人となり10人を下回りましたので、平成26年度におきましては、大正幼稚園は休園することにしたいと思っております。大正幼稚園を申込んでいただいた6人の方については、他の市立幼稚園への入園を希望されるのであれば、他の園は定員に余裕がありますので、保護者の方の希望に沿って対応させていただきたいと思っております。

休園の基準とした園児数10人の根拠は、平成13年9月に福知山市立幼稚園のあり方に関する懇話会でいただいた「福知山市立幼稚園のあり方に関する提言」を踏まえ、教育上望ましい集団活動が実施できる教育環境の確保という観点から「園児数10人以下は休園」という基準を設けたということであります。

続いて、福知山幼稚園、成仁幼稚園の4歳児の応募超過についてです。両園とも4歳児については、1人、応募人数が募集人数を上回る状況となりました。今回、4歳児の応募が増えたのは、教育の機会均等の観点により学区制限を撤廃したことが原因の1つではないかと考えております。募集案内には、「入園希望者が募集人員を超える場合は、抽選で入園者を決

定します」との注釈をいれておりましたので、資料にありますように12月7日に公開抽選を行います。抽選にはずれた方が他の市立幼稚園への入園を希望される場合は、定員に余裕のある昭和幼稚園へ受け入れをさせていただきたいと思っております。

次に資料6ページでは、市立幼稚園園児数の推移、福知山市立幼稚園園則の第2条から4条、また第11条から14条を抜粋してあげさせていただいております。

倉橋委員長 それでは、議第21号について、質問、意見はありませんか。

大槻委員 5歳児の応募について、今4歳児で通園されている方も申し込みが必要なのですか。

池田次長兼教育総務課長 今通っている方についても、改めて5歳児の申し込みをしていただいております。

塩見委員 出生率などから大正幼稚園について、今後の見通しはどのようになりますか。

池田次長兼教育総務課長 非常に難しい問題ですが、大正学区の方、みなさんが市立幼稚園を選ばれるとは限りません。保育園や私立幼稚園を希望される御家庭もあります。申し訳ありませんが、今後どれくらいの方が大正幼稚園の入園を希望されるか、状況はつかみきれません。

荒木教育長 大正幼稚園の応募者は現在6人ですが、地元から大正幼稚園の存続を求める声はありましたか。

池田次長兼教育総務課長 存続してほしいという要望は、特にはございません。
この地域の10年間の子どもの人数の推移をみますと、一番多い時でも平成17年が23人であり、その後は十数人程度であります。このことから、推測ではありますが急に30人を超えるような状況にはならないかと思っております。

大槻委員 募集時に10人を下回る場合は休園となることが募集案内には記されておりますが、大正幼稚園を応募された保護者の方には、改めて休園となることをお伝えされるのですか。

池田次長兼教育総務課長 大正幼稚園の園長からは、申込み時に保護者に対し、応募者が少ない場合は、休園する旨を伝えていただいております。

塩見委員

4歳児は学区制を撤廃し、充足率100パーセントを超える応募が福知山、成仁の幼稚園でありましたが、保育において特色があるのでしょうか。

池田次長兼教育総務課長

まず、4歳児の応募において成仁幼稚園の26人のうち、17人が校区内で、9人が校区外であります。また、福知山幼稚園については、応募者26人のうち23人が校区内で、3人は校区外であります。2つの園では、応募の特徴は異なりますが、保護者の方から以前、話がありましたことは、4歳児において学区制がなくなれば、通園に時間を要しても通わせたいという声が上がっておりました。このことが応募の増えた理由のすべてではありませんが、一つの原因となるかもしれません。

倉橋委員長

昨年、遷喬幼稚園を応募した4人は、どのような動きをとられたのか、今年の大正幼稚園の応募者の6人はどうされるのか分かる範囲で教えてください。

池田次長兼教育総務課長

昨年、遷喬幼稚園を応募された方は、ほとんどは雀部幼稚園を選ばれたようです。今年については、6人の方がどのようにされるのか、まだ今の段階では分かりませんが、通園距離から考えますと福知山幼稚園か昭和幼稚園を選ばれる可能性が高いのではないかと推測します。

倉橋委員長

もし、休園するとすれば市民へどのように知らされるのですか。

池田次長兼教育総務課長

本日、教育委員会議会で決定されましたら、すぐに報道機関へ広報いたします。また広報紙でも周知することになります。

塩見委員

私立の幼稚園は応募しても定員オーバーで入園できない園があるという声をききます。保育内容に関わって公立の幼稚園はどのように努力をしていかなければならないかと思われませんか。

池田次長兼教育総務課長

私立の幼稚園のなかには、バスでの送迎をされていたり、保育時間が公立よりも1時間長く、3時まで行われていたりします。また、預かり保育も5時までされております。こういったことから私立幼稚園を希望される方もあるかと思えます。教育の内容ももちろんですが、現社会の事情から、保護者の方が選ばれる基準は、こういった事が大きく影響しているかもしれません。

大槻委員

私の場合も、子どもは私立の幼稚園に3年通わせました。

選んだ理由はやはり就園時間が長いことと、3年保育をされていることからです。教育内容については、私立も公立も変わりはないように思います。むしろ公立の幼稚園は、小学校との連携がたくさんありますので、こういった利点をみなさんに知っていただくことができれば、応募される方も増えると思います。私立の幼稚園については、統合が進められています。新しい幼稚園の保育内容も変わるそうですので、幼稚園も過渡期となり、保護者の選択に影響してくると思います。

池田次長兼教育総務課長

公立幼稚園と私立の幼稚園の大きな違いは、大槻委員さんがおっしゃったとおり小学校とのつながりがあります。これは、公立幼稚園の特色としてアピールしていけるところであると思います。

荒木教育長

10人を下回る場合は休園とする根拠は、平成13年の懇話会での提言からくるものですが、大正幼稚園は平成24年度に6人、雀部幼稚園は平成21年度の時点で9人でありましたが、なぜ、休園しなかったのでしょうか。

池田次長兼教育総務課長

これまでの運用として、昨年でしたら「10人を下回った場合は、休園する場合があります」という注釈をつけさせていただきました。今年は「休園します」としております。また2年前はこれらの注釈は入っておりません。

昨年から注釈を入れさせていただいたのは、小学校で適正規模、適正配置と言われていることからによりますが、まず、地域の理解を得る必要があることから昨年は、「休園する場合があります」という表現を用いております。今年については、全体の園児数の推移を考えていくと、少ない人数での集団教育はあまり効果がないという意見を幼稚園教諭から聞く中で、集団教育のできる環境の確保という点から、「10人を下回る場合は休園する」といたしました。

荒木教育長

私が教育長になった平成20年には、学校教育審議会に幼稚園も含めてこれからの学校教育について諮問し、平成21年に答申が出て、平成23年の6月に教育改革推進プログラムができました。なぜ、この間、園児の人数が10人を下回る園は休園にできなかったのかといいますと、教育改革推進プログラムで統廃合の問題とからめて考えていくことになるであろうということからでした。そのため、募集案内には明確に示されていませんでした。ところが夜久野学園がスタートし、一定学校の再編計画が進むなかで、幼稚園についても再編を考えていかなければならない状況になってきたということから、今年度については、「10人を下回る場合は休園する」ということで募集をいたしました。

倉橋委員長

大正幼稚園の休園について、今後、基準を上回る要望があ

れば、開園はされるということですか。

池田次長兼教育総務課長

はい、そうです。

荒木教育長

応募人数は、4月まで、維持されますか。減少がありますか。

池田次長兼教育総務課長

保護者の転勤による増減はありますが、大きな違いはありません。

荒木教育長

11月に庵我自治会から現在、休園の庵我幼稚園について、閉園にして放課後児童クラブで使えるようにしてほしいという要望がありましたが、事務局の対応はどのようになっておりますか。

池田次長兼教育総務課長

放課後児童クラブについては、市長部局の子育て支援課が担当しますので、この要望は伝えております。庵我幼稚園は、雨漏り等もあり施設の改修が必要でありますことから、平成26年度の当初予算のなかで建物の改修、修理の要望はしております。今後、要望が通るかどうかは、不確定ではあります。

庵我幼稚園については、教育長から話がありましたように地域の方から閉園し、放課後児童クラブや地域の方が使えるようにしてほしいという要望をきいておりますので、できるだけ早く要望に応じていけるようにしなければならないと考えております。

倉橋委員長

それでは、応募結果により大正幼稚園を休園とすること、これは丁寧な対応をしていただいて理解を得るという大前提のもとに休園するということですが、それと2園の4歳児の応募超過について案内しておりますとおり公開抽選を行うということについて、議決をさせていただきます。異議はありますか。

全委員

異議なし。

倉橋委員長

異議はないので、議第21号は可決承認します。

3. 閉会

倉橋委員長が閉会を宣言。